

ConBio2017大会運営に ついてのアンケート 集計結果

ポジション別:その他

回答者数:48名

アンケート結果を公表します。具体的な個人名、施設名を伏字とした他は、一切の加工をしております。
自由記述欄の批判的なご意見の中に、事実誤認に基づくものが多数ある事を申し添えます。
ご注意ください。

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)

大会長

第40回日本分子生物学会年会 年会長 篠原 彰

第90回日本生化学会大会 会 頭 大野茂男

質問1. ConBio2017に参加されましたか

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	参加した	44	91.7%						
回答2	参加しなかった	4	8.3%						
	合計	48							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	学部学生	0	0.0%						
回答2	大学院生	0	0.0%						
回答3	ポスドク等非常勤研究者	0	0.0%						
回答4	企業研究者	0	0.0%						
回答5	大学・研究所等の常勤研究者	0	0.0%						
回答6	その他	48	100.0%						
	合計	48							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問3. あなたの年齢は

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	19歳以下	0	0.0%						
回答2	20-24歳	0	0.0%						
回答3	25-29歳	2	4.2%						
回答4	30-34歳	3	6.3%						
回答5	35-39歳	8	16.7%						
回答6	40-44歳	3	6.3%						
回答7	45-49歳	4	8.3%						
回答8	50-54歳	5	10.4%						
回答9	55-59歳	5	10.4%						
回答10	60-64歳	3	6.3%						
回答11	65-69歳	10	20.8%						
回答12	70歳以上	5	10.4%						
回答13	回答しない	0	0.0%						
	合計	48							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	日本分子生物学会	29	60.4%						
回答2	日本生化学会	19	39.6%						
回答3	協賛団体	19	39.6%						
回答4	協賛団体以外の学会	14	29.2%						
回答5	その他	2	4.2%						
	合計	83							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4-3. 協賛団体 詳細 <複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	日本医学会連合	0	0.0%						
回答2	生物科学学会連合	0	0.0%						
回答3	自然史学会連合	0	0.0%						
回答4	日本RNA学会	1	5.3%						
回答5	日本味と匂学会	0	0.0%						
回答6	日本医真菌学会	0	0.0%						
回答7	日本遺伝学会	0	0.0%						
回答8	日本遺伝子細胞治療学会	0	0.0%						
回答9	日本宇宙生物科学会	0	0.0%						
回答10	日本栄養・食糧学会	0	0.0%						
回答11	日本エピジェネティクス研究会	1	5.3%						
回答12	日本解剖学会	0	0.0%						
回答13	日本癌学会	7	36.8%						
回答14	日本がん予防学会	0	0.0%						
回答15	日本寄生虫学会	0	0.0%						
回答16	日本ゲノム編集学会	1	5.3%						
回答17	日本ケミカルバイオロジー学会	0	0.0%						
回答18	日本細菌学会	1	5.3%						
回答19	日本細胞生物学会	2	10.5%						
回答20	日本酸化ストレス学会	0	0.0%						
回答21	日本時間生物学会	0	0.0%						
回答22	日本実験動物学会	1	5.3%						
回答23	日本神経病理学会	0	0.0%						
回答24	日本人類遺伝学会	2	10.5%						
回答25	日本生物物理学会	0	0.0%						
回答26	日本生理学会	0	0.0%						
回答27	日本蛋白質科学会	2	10.5%						
回答28	日本動物学会	1	5.3%						
回答29	日本バイオインフォマティクス学会	1	5.3%						
回答30	日本発生生物学会	2	10.5%						
回答31	日本比較内分泌学会	0	0.0%						
回答32	日本微生物生態学会	0	0.0%						
回答33	日本病理学会	0	0.0%						
回答34	日本プロテオーム学会	0	0.0%						
回答35	日本放射線影響学会	0	0.0%						
回答36	日本免疫学会	2	10.5%						
回答37	日本薬理学会	0	0.0%						
	合計	24							

※割合は質問4-3「協賛団体」の回答者数を母数にして算出しています

質問5. ConBio2017に参加する目的は？ <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 自身の研究成果の発表と宣伝	11	22.9%							
回答2 最新の研究成果の情報の獲得	43	89.6%							
回答3 研究の打ち合わせ	6	12.5%							
回答4 知り合いとの交流	20	41.7%							
回答5 就職活動	2	4.2%							
回答6 その他	11	22.9%							
合計	93								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問6. 質問5の目的はConBio2017によって達成できましたか？ <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 期待通りに達成できた	31	64.6%							
回答2 達成できたが期待よりはできなかった	14	29.2%							
回答3 達成できなかった	3	6.3%							
回答4 その他	2	4.2%							
合計	50								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問7. ConBio2017の参加費は？ <複数回答可>

※事前参加登録費:会員(一般)11,000円、会員(学生)3,000円、非会員(一般)17,000円、非会員(学生)5,000円

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 一般参加費は高すぎる	16	33.3%							
回答2 一般参加費は適切である	23	47.9%							
回答3 一般参加費は安すぎる	1	2.1%							
回答4 学生参加費は高すぎる	4	8.3%							
回答5 学生参加費は適切である	9	18.8%							
回答6 学生参加費は安すぎる	2	4.2%							
回答7 その他	9	18.8%							
合計	64								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問8. ConBio2017とこれまでの単独年会・大会、合同大会などと比較して全体的なご感想、ご意見をお聞かせください

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 よかった	26	54.2%							
回答2 よくなかった	5	10.4%							
回答3 どちらでもない	11	22.9%							
回答4 その他	6	12.5%							
合計	48								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問9. ConBio2017の規模は？

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 適当な規模である	28	58.3%							
回答2 大きすぎる	19	39.6%							
回答3 その他	1	2.1%							
合計	48								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問10. ConBio2017の適切と思う会期は？

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 4日間	28	58.3%							
回答2 3日間	15	31.3%							
回答3 その他	5	10.4%							
合計	48								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問11. ConBio2017の開催期間に週末、祝日を含めるべきと思いますか

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 全て平日	15	31.3%							
回答2 土曜日を含んだ方が良い	24	50.0%							
回答3 日曜日、祝日を含んだ方が良い	6	12.5%							
回答4 その他	3	6.3%							
合計	48								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問12. ConBio2017の適切と思う開催時期は？

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 このままの12月上旬が良い	37	77.1%							
回答2 9月下旬が良い	6	12.5%							
回答3 別な時期が良い	3	6.3%							
回答4 具体的な好ましい時期を記載してください	2	4.2%							
合計	48								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問13. オンデマンド配信について、参加者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 プレナリーレクチャーの「オンデマンド配信」動画が半永久的に保存・公開されることは、生命科学分野全体のためになり良い	34	70.8%							
回答2 プレナリーレクチャーの「オンデマンド配信」は参加者のみの期間限定特典とするべき	7	14.6%							
回答3 シンポジウム・ワークショップを「オンデマンド配信」で視聴できるのは良い	31	64.6%							
回答4 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがある	22	45.8%							
回答5 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがない	2	4.2%							
回答6 シンポジウム・ワークショップのみならず、一般口頭発表にも「オンデマンド配信」を導入すべき	12	25.0%							
回答7 「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	9	18.8%							
回答8 「オンデマンド配信」の期間は長すぎる	0	0.0%							
回答9 「オンデマンド配信」を利用していないのでわからない	6	12.5%							
回答10 その他	2	4.2%							
合計	125								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問14. オンデマンド配信について、発表者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがある	31	64.6%							
回答2 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがない	5	10.4%							
回答3 その他	13	27.1%							
合計	49								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問15. ConBio2017における以下の取り組みについて、良かったと思うもの <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 FAOBMB Programs	4	8.3%							
回答2 高校生発表	14	29.2%							
回答3 製薬・創薬面談コーナー	1	2.1%							
回答4 ランチタイムキャリアセミナー	11	22.9%							
回答5 出展企業への対応(企業展示見学時間帯の設定)	7	14.6%							
回答6 出展企業への対応(企業ランチョンセミナーと他プログラムの並行をできるだけ避けた構成)	12	25.0%							
回答7 出展企業への対応(バーコードリーダー導入による、出展企業への大会参加者[顧客]情報提供)	16	33.3%							
回答8 特になし	14	29.2%							
回答9 その他	4	8.3%							
合計	83								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問16. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 テーマは適切である	37	77.1%							
回答2 テーマが偏っている	2	4.2%							
回答3 協賛団体の参加により興味深いテーマが増えた	15	31.3%							
回答4 協賛団体の参加により興味深いテーマが減った	4	8.3%							
回答5 海外からのシンポジストの数は適切であった	2	4.2%							
回答6 海外からのシンポジストはもっと増やしたほうがよい	9	18.8%							
回答7 特になし	11	22.9%							
回答8 その他	2	4.2%							
合計	82								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問17. ワークショップについて <複数回答可>

【当該設問の結果について】

委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問18. 一般演題について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 プログラム編成・日程振り分けはよかった	21	43.8%						
回答2 プログラム編成・日程振り分けに不満が残った	8	16.7%						
回答3 ポスターセッションの時間(2時間30分)はちょうどよい長さだ	11	22.9%						
回答4 ポスターセッションの時間はもっと長いほうがよい	5	10.4%						
回答5 ポスターセッションの時間はもっと短くてよい	5	10.4%						
回答6 ポスターから一般口頭発表に採択されるシステムはよかった	3	6.3%						
回答7 ポスターから一般口頭発表に採択されるシステムに不満が残った	1	2.1%						
回答8 協賛団体の参加により興味深いテーマが増えた	4	8.3%						
回答9 協賛団体の参加により興味深いテーマが減った	2	4.2%						
回答10 特になし	7	14.6%						
回答11 その他	6	12.5%						
合計	73							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問19. 企業展示会について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加した	30	62.5%							
回答2 参加しなかった	6	12.5%							
回答3 よかった	12	25.0%							
回答4 よくなかった	0	0.0%							
回答5 特になし	11	22.9%							
回答6 要望・その他	0	0.0%							
合計	59								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問20. ランチョンセミナーについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加した	17	35.4%							
回答2 参加しなかった	26	54.2%							
回答3 よかった	3	6.3%							
回答4 よくなかった	0	0.0%							
回答5 特になし	2	4.2%							
回答6 要望・その他	8	16.7%							
合計	56								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問21. ITシステム(WEBシステム・アプリ)について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」は使いやすかった	24	50.0%							
回答2 基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」が使いにくかった	9	18.8%							
回答3 WEBシステムとアプリで「マイスケジュール」が同期できて便利だった	12	25.0%							
回答4 「マイスケジュール」が使いにくかった	5	10.4%							
回答5 「会場ナビ機能」が役に立った	8	16.7%							
回答6 「会場ナビ機能」は役に立たなかった	3	6.3%							
回答7 アプリについてはオフライン利用のみで十分であると思う	0	0.0%							
回答8 「SNS機能(参加者⇄発表者)」が役に立った	3	6.3%							
回答9 ITシステム全般について評価していない	2	4.2%							
回答10 特になし	15	31.3%							
回答11 その他	5	10.4%							
合計	86								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問22. 今後の大会の開催形式について <複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	今回と同様に多くの学会が参加する形式の開催がよい	20	41.7%						
回答2	分子生物学会と生化学会のみ合同開催がよい	18	37.5%						
回答3	分子生物学会・生化学会それぞれ単独開催がよい	5	10.4%						
回答4	分子生物学会または生化学会と他学会との合同開催がよい	1	2.1%						
回答5	分子生物学会または生化学会との合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか	4	8.3%						
回答6	特になし	4	8.3%						
回答7	その他	2	4.2%						
	合計	54							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは（その他）

回答者 番号	その他記述
※	医療系専門学校の副校長
※	定年退職後の非常勤研究者
※	大学技術職員
※	出版社
※	医師
※	大学の非常勤特任研究者
※	公立病院医師
※	大学非常勤研究者
※	シルバー会員(元大学教員
※	以前ポスドク 今開業医
※	研究支援、ファンディング
※	テクニカルスタッフ
※	技術職員
※	財団勤務、嘱託社員
※	入試担当教員
※	名誉教授
※	OB
※	展示会出展企業の社員
※	研究所テクニシャン
※	企業経営者
※	病院勤務しながら研究。
※	退職研究者
※	技術専門職員
※	研究所テクニカルスタッフ
※	企業 新規事業担当者
※	企業・アカデミア研究支援サポート
※	任期付き技術員
※	医師及び大学病院の共同研究員
※	国立大学名誉教授
※	海外研究者
※	技術補佐員
※	国立大学名誉教授
※	共同実験のスタートを目指して目下、科研費申請書作成係りに徹している私立大学の訪問研究員
※	団体職員(研究者)
※	シニア非常勤研究者
※	認定遺伝カウンセラー
※	博士号を取得後、大型機器の安全管理に関する職に従事しております
※	医療案件を担う市場調査会社(マーケティング・リサーチ会社)のリサーチャー
※	大学の技術職員
※	大学の教育研究職を定年退職しています。

質問4-4. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (協賛団体以外の学会)

協賛団体以外の学会記述	件数
CBI学会	1
遺伝カウンセリング学会、婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科学会、乳癌学会、癌治療学会、家族性腫瘍学会	1
日本遺伝子治療学会	1
日本医用マスペクトル学会	1
日本化学会	1
日本化学会, ACS	1
日本外科学会、日本癌治療学会	1
日本核酸医薬学会、日本核酸化学会	1
日本神経化学会、Society for Neuroscience	1
日本進化学会	1
日本内科学会	1
日本薬学会	1

質問4-5. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	所属なし
※	量子生命科学研究会

質問5. ConBio2017に参加する目的は？ <複数回答可>（その他）

回答者 番号	その他記述
※	機器展示の見学
※	プレナリーレクチャーを聞くため
※	それぞれの研究分野のアクティビティー、研究者数の把握など
※	企業展示会場で最新機器などについて情報収集
※	顧客ニーズの獲得案件(商談)機会の掘り起こし
※	機器展示
※	企業ブースでの最新機器試薬消耗品の情報調査
※	各製薬メーカーの今後の新薬開発にあたり、各疾患領域に関連する研究領域の現状・バックグラウンドを包括的に把握する
※	著名な研究業績を挙げた研究者の研究姿勢を講演から学ぶ。研究活動と社会との関係に関わる企画を通じて、研究や研究者のあり方について考える。

質問6. 質問5の目的はConBio2017によって達成できましたか？ <複数回答可>（その他）

回答者 番号	その他記述
※	学会が大きすぎて、シンポジウム等で聞きたいものが重複している。ポスターはもう限界で、おまけに会場が3つに分散している。事前に調べてはいるが...
※	0. 期待以上に達成できた

質問7. ConBio2017の参加費は？ <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	分子生物学会のシニア会員なので参加費は無料でした。この制度は非常に良い制度だと思います。
※	なんとも言えないが、収支を考えれば妥当なのかもしれない。内容からすれば安いかもしれない。
※	シニア会員であるため、参加費は無料(この制度は高齢者にとって大変有用である)
※	今何をしているのか、又は何もしていないのかを証明するのは難しいが、とっくの現役を引退して現在何も給料をもらっていない人のための、「シニア参加費」のようなものはできないだろうか。
※	シニア制度は大変ありがたい。
※	引退した元研究者が生化学の現状を知るため、発表なしで参加するときの特別参加費があってもよい。日本化学会は名誉会員でなくても永年会員は会費免除で学会参加費の割引がある。参加申込書にも元研究者に該当する分類がないし、このアンケートにも、あなたのポジションは、に対してその他としか答えられない。引退した者はうろちよろするな、と言われていたようだが、それでも講演や発表は聞きたい。
※	スケジュール調整も直前まで決まらないので当日参加の13000は高い。正社員、正職員と非常勤が同じ値段はおかしい。非常勤など値段を下げるべき。
※	シルバー会員は如何でしょうか。ずっと非常勤研究員でしたので年金は月10万円以下です。

質問8. ConBio2017とこれまでの単独年会・大会、合同大会などと比較して全体的な感想、ご意見をお聞かせください（その他）

回答者 番号	その他記述
※	興味有る公演やシンポジウムが重複しがものがあった。
※	多岐にわたり話が聞けるのはとてもよかった。一方で同じ分野が同時刻に別会場で開催されていたりなど、プログラム編成にはやや不満が残った。
※	アメリカでも欧州でも世界でも、とくに分子生物学会と生化学会是一緒になっている。2つの学会が1つになるのがそんなに難しい場合、せめて今回のように大会を一緒にして欲しい。そもそも、分子生物学会と生化学会の幹事達の多くは重複している。重複幹事達はどう思っているのか？ 重複幹事を禁止するべきである。
※	分子生物学会、生化学会以外の「色」がいまひとつ見えなかったが、会員の多くがオーバーラップしているのでは？ と仮定すると、シナジーは期待できるのであろうか？
※	参加していません。

質問9. ConBio2017の規模は？（その他）

回答者 番号	その他記述
※	合同学会としての参加人数であれば妥当かと思うが、4日は出張期間としてはかなり長く感じた。4日にするのであれば、初日は午後スタート、最終日午前が最終セッション、位の時間でないと全体を通して参加するのはかなり難しいと感じた。

質問10. ConBio2017の適切と思う会期は？（その他）

回答者 番号	その他記述
※	5ないし6日間
※	合同であれば4日間は適当。単独だと3日間は適当
※	合同なら4日、単独なら3日。
※	日にちの問題より演題数を何とかして頂きたい

質問11. ConBio2017の開催期間に週末、祝日を含めるべきだと思いますか（その他）

回答者 番号	その他記述
※	年末ではなく秋がよいと思う。
※	別に気にすることはない。
※	4日間なら土曜を含め、3日間なら平日で。

質問12. ConBio2017の適切と思う開催時期は？（具体的な好ましい時期）

回答者 番号	具体的な好ましい時期記述
※	春
※	11月頃、あまり寒くならないうちに

質問13. オンデマンド配信について、参加者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

回答者番号	回答内容	記述内容
※	その他	すばらしい企画。理解度向上への寄与度大 学会参加者の全体レベルを底上げするのに大いに役立つと思います。演者の方はタイヘンだと存じます。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	3ヶ月
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる/その他	オンデマンド配信は6ヶ月くらいが良い。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	12月開催であれば3か月は欲しい(年末年始を挟むため)
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	今まで以上に、多くの講演を聞くことができ、大変有意義であった。特に、会場が広く、複数の講演会場を午前中、あるいは午後のうちに回るのは不可能であったので、安心して一つの会場に集中できた。ただし、オンデマンド配信となっていたのに、なぜかオンデマンド配信されていない講演があるので、聞き損ねたものもある。演者に事前に了解を取ってなかったのか、直前に拒否されたのか不明であるが、プログラム配信時には決定するようにして欲しい。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	オンデマンド配信は少なくとも3月末まで公開すべきと思う
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	1年間は欲しい。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	半年から一年くらいはあっても良いのではないかと。短いと興味を持っていても、配信期間が終わってしまいますので。

質問14. オンデマンド配信について、発表者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	発表していない
※	発表していません。
※	発表していません
※	該当せず
※	発表する方も聴取する方も、大きなメリットがあると考えます。学会発表の基本的な趣旨から考えると、よりよいプレゼンテーション、よりわかりやすい発表は、より良いコミュニケーションにつながり、その後のより良いディスカッションにつながると思われま。従って、オンデマンド配信は発表者と聴取者の両者にとってより良いコミュニケーションをもたらし、今後の学会のあり方も正しい方向へ導くものと思われま。
※	発表者でないので何とも言えない。
※	わからない。
※	発表者ではないので意見はない。
※	今回、発表はしていません。

質問15. ConBio2017における以下の取り組みについて、良かったと思うもの <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	高校生発表は良い試みだが、最終日最終時間帯では聞けない人も多いただろう。ゴールデンタイムは外すとして、もう少し参加しやすい時間帯はないか？ポスター発表に特別枠を設けてもよいのではないか。
※	参加人数に対して企業ランチョンセミナーが相対的に少なかった
※	参加してません。
※	就活やキャリアに関係するランチョンセミナーは大入り満員で、部屋から人があふれていて聞くことが難しいものがあった。ランチの数は費用もあるだろうから限られるとしても、ランチ無しでも聴けるように部屋のスペースをもっと大きくとってもらいたかった。高校生のポスター発表には、学会員の参加は少しかなされていなかったと思う。コメントしてくれる人もいないケースも結構あって、発表している高校生が気の毒な気がした。高校生ポスターへの参加を直前のシンポや口演発表の終了時に座長から聴衆に呼びかけることがあれば少しは参加者が増えるのではないか。

質問16-2. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	今回は免疫系が多かったように思うが、とても面白かった。

質問16-8. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	【当該設問の結果について】 委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問17. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	【当該設問の結果について】 委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問18. 一般演題について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	近い分野のシンポジウム・ワークショップが同じ時間帯に行われることが散見された
※	全体に数を減らして内容的に質の良いものに絞ってほしい。ポスター発表ももっと制限すべき。ポスターで説明するのであれば口頭発表は不要ではないか？
※	LBAの会場の案内板がわかりにくかった。本部に出向き問い合わせるも、本部も混乱していたため、場所がわからず討論の機会を逃がした。
※	一般口頭発表の時間をその人のポスターの前にした方がいいと思います
※	ポスターセッションは以前のように夕方からの方が良い。(ポスターセッションに参加しない日は無駄な時間が多い)
※	一般演題が少ないと言う印象だった

質問19. 企業展示会について <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
	記述なし

質問20. ランチョンセミナーについて <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	発券数が少なくいつも終了
※	ランチョンセミナーが一部昼食が目的のように見受けられるので、昼食希望者には昼食代を徴収し、一方で昼食無しでも聞けるようにした方が良いと思う。
※	会場に入れなく参加できなかった。もう少し適切な会場の大きさを望む。
※	金曜の9時前に出かけたが、企業ランチョンセミナー参加証が入手できない(必要数が足りない)
※	広い会場で、もう少し着席できるようにしてほしいまた、ランチョンの会場はランチを取りながらメモを取ったりしたいのでデスクがあった方がすかる。
※	Q15に同じ
※	参加チケットを事前に入手した人も長時間並ぶことに疑問を持った。また、事前にチケットを入手できなかったが、参加したいというときに、長時間並ばされたあげくに、弁当はおろか資料ももらえないという事が何度もあった。事前にチケットを入手した人の席を固定で確保しておいて、弁当が無いことを前提での入場もさせて欲しい。長い間並ばされて待たされて、すぐに弁当は無くなり、資料ももらえず、席も無いでは、悪感情しかわいてこない。
※	就活やキャリアに関係するランチョンセミナーは大入り満員で、部屋から人があふれていて聞くことが難しいものがあった。ランチの数は費用もあるだろうから限られるとしても、ランチ無しでも聴けるように部屋のスペースをもっと大きく(例えば今回の2倍位に)とってもらいたかった。

質問21. ITシステム(WEBシステム・アプリ)について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	大変素晴らしいシステムであり、今後も継続して頂きたい。
※	研究者名で探して無いので、不参加と思っていたら、実際には参加していた。システムの不具合で検索ができないと、当の研究者名が話していた。
※	講演要旨(紙媒体)に人名索引がなくて非常に不便であった。ITシステムの人名索引も使いにくかった。一覧表になっていれば、全体を眺めながら、ふと目にとまった名前から思い出し、今頃どんな研究してるのだろう? との好奇心から聞いてみるorポスター一見してみる、といった可能性が、今回のシステムでは全く不可能である。偶然の出会いの可能性を完全に排除する今回のシステムは評価できない。
※	Free WiFiが会場でどうしても繋がらなかった。回線が混みあっていたためなのかどうか分からないが、改善してもらいたい。
※	是非、続けて欲しい。

質問22-5. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会)

回答者 番号	合同開催が可能な学会記述
※	分子生物学会と生化学会は統合した方が良い。
※	合同学会ではなく、ジョイントセッション程度で良い。個人的には物理学との連携が必要。
※	量子生命科学研究会
※	分子生物学会主催で、他の学会が共催というような形も良いのではないかと思う。

質問22-7. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	数年に一度、今回のような合同大会があってもよいと思うが、毎年である必要はないと思う。
※	日本生化学会と分子生物学会は、いずれは合併することが望ましいが、それまでは、単独と合同と隔年開催がよい。

質問23. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者番号	意見記述
※	昼食が利用な施設が少なすぎるので、今回の様な規模の会議の場合はその点を十分に考慮して欲しい
※	個人的には口演をしっかりと聴きたかったので、途中のポスタータイムは長すぎて苦痛だった。しかし総じて非常に良い学会だったと思う。非常に勉強になりました。ありがとうございました。
※	今回は会場ごとの温度管理がうまくいっていなかった。ホテルは寒く(風が吹き抜けていた)、展示会場は暑かった。
※	Wifiが通じるところが少なく、ベンチなども埋まっていた必要ときにすぐ使えなかったのがやや不便だった。例年あったランチョンセミナーの事前登録があると嬉しかった。プログラム(紙媒体)に、索引がなかったこと、また発表者しか載っていないことでかなり使いづらかった。今まではアプリ配信前(アプリがなかった時を含む)に紙媒体で調べることが多かったので不便でした。アプリでの検索はとにかくたくさん条件を絞らないと目的のものに出会えなかったりするので、アプリはアプリで扱いにくかった。セッション自体はとても興味深いものが多かったです。
※	なし
※	発表者の他に研究指導者がすぐにわかるようにして欲しい。研究テーマ以外に、ある特定の研究室の発表をまとめて聞きたい場合があるので。
※	交通:朝のモノレールが混みすぎていたので臨時バスなどができるともっと良かった。宿泊:宿泊施設が足りない昼食:食事できるスペースが寒すぎた。ケータリングカーの種類が少なかった(温かい食事希望)。金額設定はよかった。参加者に対してレストラン店舗の数が少なかった。レストランの割引サービスはよかった。休憩スペース:休憩できる場所が少なかった。
※	1. 経費節減のためかもしれないが、発表会場に講演番号が掲示されないのは不便だ。プログラムに記載の発表時間通りにかなり正確に講演が行われたが、それでも会場によっては10 min程度の遅れがでる。途中で入場したとき、誰が何を発表しているのか分からなくて戸惑うことがあった。2. 18時30以後に始まるセッションはやめてほしい。
※	年会長、会頭の先生方をはじめスタッフのみなさま、大変お疲れ様でした。実り多い学会でした。次回も楽しみにしています。
※	内容審査を深め採択率を下げても良いのでは。他分野の人の為にも別枠にでも、インパクト性、チャレンジ性や新規性などをひとこと記述させるとか……
※	研究不正問題について分子生物学会がいろいろなイベントをしたり声明を出したりしていますが、ここ数年は態度が徐々に退化しているようにしか感じられません。滞りなく研究不正問題シンポジウムが開催されることによって、大学等の今年一年の対応が間違っていないとお墨付きを与えるような役割を事実上果たしてしまっているように感じます。関係者の方々は裏でいろいろと対応を苦勞されているのかもしれない。しかし、何も知らない底辺の人間としては、危ない人が危ない人をシンポジウムやワークショップの演者に選んで名誉の講演をさせることで、お互いに免責し合っているようにしか見えなわけです。プログラム委員が自由と透明性を保って委員を務められる環境は整えられているのでしょうか。
※	一つのシンポジウムやワークショップの時間が長く、重なってしまうことが多かった。午前一つ、午後一つでは選択肢が限られるので、時間的に二つに分ける等して、重なることが少なくなるように、また、色々なテーマのものに参加できるようにして欲しい。
※	全般的に大変良かったです。